

**STIEBEL ELTRON**

壁掛式電気パネルヒーター

# 取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型 式…… CNDシリーズ

機種名…… ● CND-75J

● CND-100J

● CND-150J

● CND-200J



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP.1「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

## [目次]

### ●取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 各部のなまえと機器の特長	3
2-1. 機器の特長	3
2-2. 各部のなまえ	3
3. 運転のしかた	5
3-1. 暖房の開始と停止（快適運転）	5
3-2. 運転モードについて	7
3-3. 運転モードの選択	8
4. 便利機能	14
4-1. 人感センサー検知機能	14
4-2. ウィンドウサーチ機能	16
4-3. 消費電力量表示機能	17
4-4. 現在室温表示機能と 室温表示補正機能	18
4-5. FPモード	19
5. チャイルドロックの設定	20
6. 日常の点検とお手入れ	21
7. 故障かな？と思ったら	22
8. 点検及び修理について	23
9. 仕様	24

### ●取付説明書

1. 安全上のご注意	26
2. 部品の確認	28
3. 機器結線図	28
4. 機器の設置	29
4-1. 設置場所の確認	29
4-2. 電源接続	29
4-3. 機器の固定	30
5. 試運転の手順	32
保証書	33

# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡、または、重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 <b>禁止マーク</b> してはいけないことを示します。
 <b>注意マーク</b> 注意することを示します。
 <b>指示マーク</b> 必ず行なうことを示します。

## 警告

### 禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器を運転中、運転後は、機器表面が熱くなっているので触らないでください。また、お子様が近寄らないようにしてください。
-  機器の上や機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
-  機器に直接衣類等を置いて、乾かしたりしないでください。
-  機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物品を置かないでください。(離隔距離は、壁紙や棚、カーテン等の品質を保証する距離ではありません。)

	前面	上面	左面	右面	下面
離隔距離	500mm以上	150mm以上	150mm以上	150mm以上	150mm以上

※カーテン等、全ての可燃物は、機器から150mm以上離してください。

## ！ 指示

！ 機器に異常が発生した場合は、機器の電源スイッチの「○」を押し、機器の専用ブレーカを「切」(OFF)にして日本スティーベル(株)にご連絡ください。

！ 壁固定金具が正しく取り付けられ、機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。

！ 震災等で万が一転倒した場合は、下記の項目を実施の上、日本スティーベル(株)にご連絡ください。

- ①機器の電源ブレーカを「切」(OFF)にしてください。
- ②建物が揺れている間は、機器に近づかないでください。
- ③機器の上に落下物がある場合は、取り除いてください。

！ お子様や身体に障害がある方が操作する場合は、監督者の管理のもと、または、安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

## ！ 注意

### ⊘ 禁止

⊘ 人感センサーの前方に視野を遮る障害物を置かないでください。

⊘ 機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。

⊘ 機器の隙間から、内部に物を入れないでください。

## ！ 指示

！ 暖房期間中は、電源スイッチを「I」のままお使いください。「○」を押すと暖房時刻などの設定値が初期値に戻り、再設定が必要になります。

！ 暖房期間中における短期間の運転停止は、操作部のスタートボタンをお使いください。

！ 現在時刻は、正しい曜日を選択し、日本標準時を合わせてください。(P.9「3-3-4(1)現在時刻の設定」参照)

！ 機器を使用した場合、暖房の熱等で家具や棚等の木質系素材が反る、割れる、変形する可能性があります。機器周辺には乾燥、熱に対する対策が施してあるものをご使用ください。

！ 機器を使用した場合、熱により周囲が変色する可能性があります。機器周辺には、熱に対する対策が施してあるものをご使用ください。

！ 機器の吹出口、吸気口にホコリが詰まると、異常過熱や故障の原因となりますので定期的に掃除をしてください。

！ 機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。

！ 機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。

！ 機器の移設を行なう場合は、日本スティーベル(株)にご相談ください。

## 2. 各部のなまえと機器の特長

### 2-1. 機器の特長

壁掛式電気パネルヒーター CNDシリーズ（本文中では、「機器」と表記）は、従来のフィンヒーターを用いた自然対流による暖房に、前面パネルでの輻射による直接暖房を組合せた機器です。高精度デジタル制御により、快適な室内空間と同時に徹底した省エネ運転を実現します。

標準の快適運転の他、設定温度を下げて節電を行うエコ運転、及び凍結防止運転、任意のスケジュール設定で運転するプログラム運転を選択できます。さらに、人感センサー検知機能などの便利機能で、省エネ性や室内の快適性を向上させることができます。

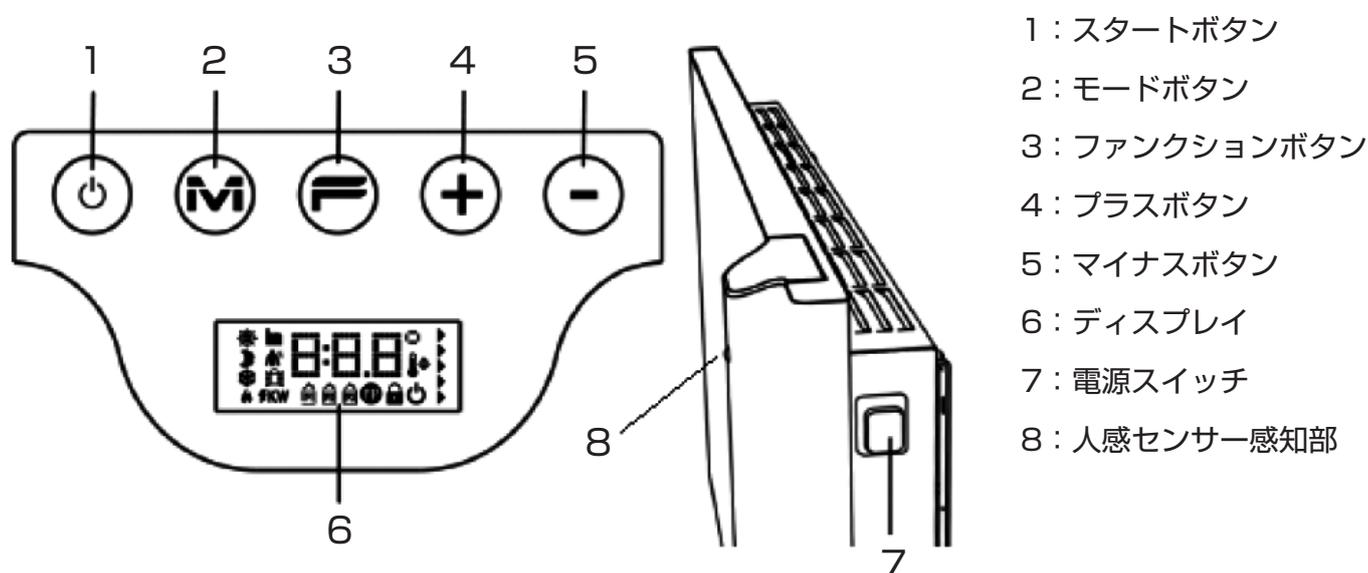
前面上部に設置した液晶ディスプレイで、機器の運転状態を確認することができます。

### 2-2. 各部のなまえ

#### 2-2-1. 機器外観



#### 2-2-2. 操作部詳細



## 2-2-3. ディスプレイ・マーク一覧



操作ボタン	マーク	名称	機能
モードボタン		快適運転	設定した室温に合わせてヒーターをON/OFFします。
		エコ運転	快適運転-0.5℃以下の任意の温度に設定した室温に合わせてヒーターをON/OFFします。
		凍結防止運転	定温度7.0℃でヒーターをON/OFFします。
		プログラム運転1	工場設定のプログラムに従って暖房運転を行いません。プログラムを変更して、お好みのスケジュールを組むことができます。(P.11「3-3-4.(2)」)
		プログラム運転2	工場設定のプログラムに従って暖房運転を行いません。(プログラムの変更はできません。)
		プログラム運転3	工場設定のプログラムに従って暖房運転を行いません。(プログラムの変更はできません。)
		FP運転	この運転モードは使用しません。他の運転モードに設定してください。
ファンクションボタン		便利機能	「ファンクションボタン」を押した際に点滅します。
		人感センサー検知機能	人感センサー検知機能が設定されています。
		ウィンドウサーチ機能	ウィンドウサーチ機能が設定されています。
		消費電力量表示機能	ディスプレイに参考消費電力量を表示しています。
		現在室温表示機能	機器の温度センサーが検知している温度(室温表示補正後の温度)を表示しています。
		室温表示補正機能	機器の温度センサーが検知している温度を補正できます。
		ヒーター運転	ヒーターがONの場合に点灯します。
ファンクションボタン5秒間		チャイルドロック	チャイルドロックが設定してあります。解除しない限り、操作部からの操作が無効になります。
スタートボタン		待機モード	暖房運転を停止しています。

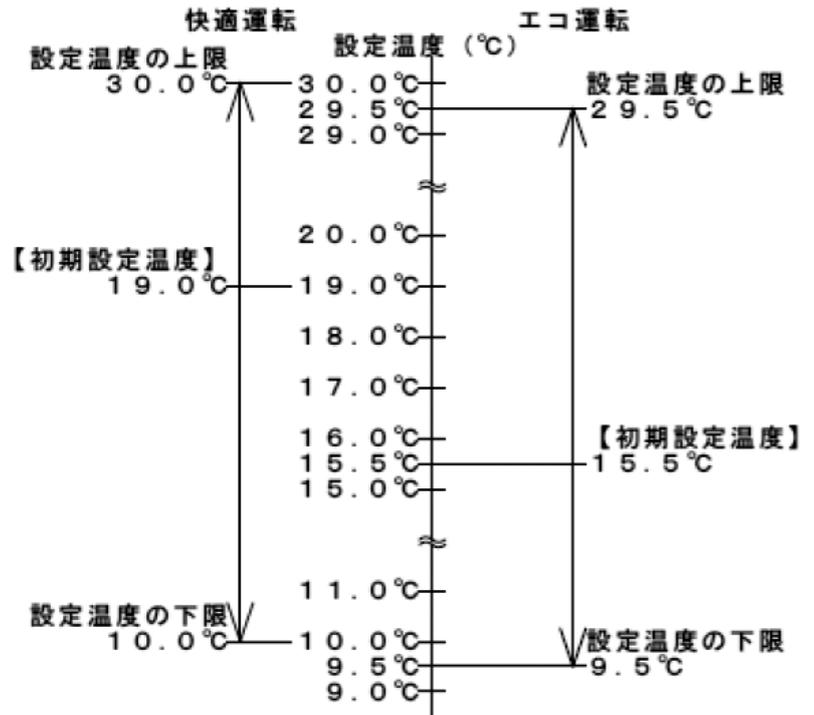
## 2-2-4. エコ運転度表示と設定温度



エコ運転度  
高い  
↑  
↓  
低い

設定温度
9.5℃～19.0℃
～20.6℃
～22.3℃
～24.0℃
～30.0℃

- ディスプレイ右端の「▶」は、エコ運転度を示しています。  
ディスプレイ横のバーの長さが短い程、エコ運転度が高い運転状態です。
- 快適運転の設定温度範囲は、10℃～30℃で、0.1℃単位で設定できます。
- エコ運転の設定温度範囲は、9.5℃～29.5℃で、同じく0.1℃単位で設定できますが、快適運転に対する制約があり、最大値は、「快適運転の設定温度-0.5℃」です。



# 3. 運転のしかた

## 3-1. 暖房の開始と停止（快適運転）

- ❗ 暖房期間中は、電源スイッチを「I」のままお使いください。「○」を押すと暖房時刻などの設定値が初期値に戻り、再設定が必要になります。
- ❗ 暖房期間中における短期間の運転停止は、操作部のスタートボタンをお使いください。

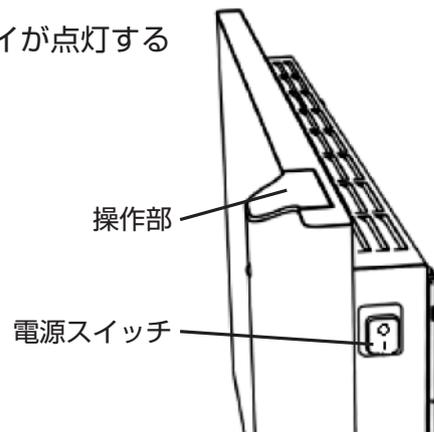
### 3-1-1. 電源を入れる

- ①機器の電源ブレーカを「入」(ON)にします。



分電盤参考図

- ②機器右側面の電源スイッチの「I」を押して、操作部のディスプレイが点灯することを確認します。

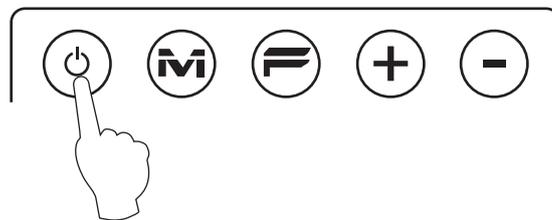


### MEMO

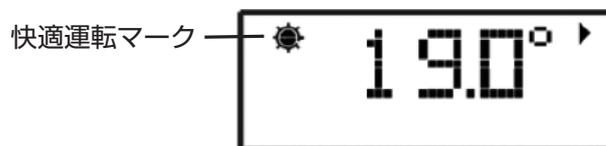
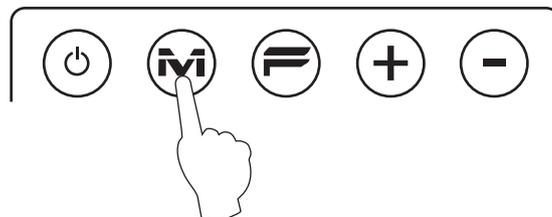
- ディスプレイが節電状態（暗い）の場合は、操作部の任意のボタンを押して、ディスプレイを動作状態（明るい）にすると以下のボタン操作が可能になります。

## 3-1-2. 暖房を開始する

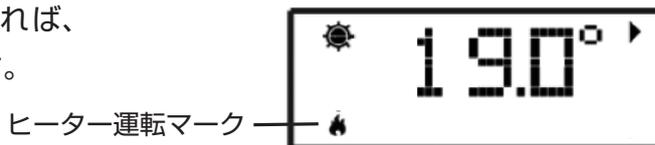
- ①待機モードマークが点灯している場合は、「スタートボタン」を押します。



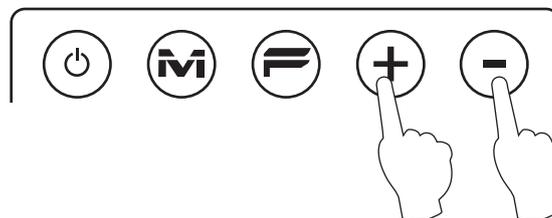
- ②「モードボタン」を押して、快適運転マークを点灯させます。



- ③快適運転の状態ですべて設定温度より現在室温が低ければ、ヒーター運転マークが点灯して、暖房を開始します。

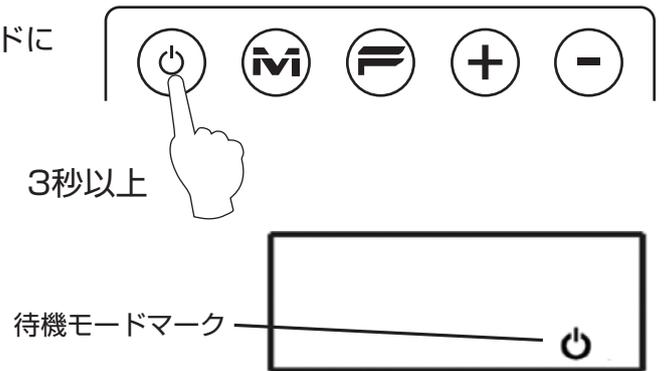


- ④「プラスボタン」、「マイナスボタン」を押して、設定温度を10℃～30℃の範囲で、0.1℃単位で設定します。



### 3-1-3. 暖房を停止する

①「スタートボタン」を3秒以上長押しして、待機モードにします。



#### MEMO

○長期間使用しない場合にのみ、電源スイッチの「○」を押してください。

### 3-2. 運転モードについて

○快適運転の他、下表の運転モードからお好みの運転モードを選択することができます。

運転モード	現在日時設定	温度の設定	スケジュールの設定	便利機能				
				人感センサー検知	ウィンドウサーチ	消費電力量表示	現在室温表示	室温表示補正
快適運転	不要	10.0 ~ 30.0℃ 【19.0℃】	不可	○	○	○	○	○
エコ運転	不要	9.5 ~ 29.5℃ 【15.5℃】	不可	—	○	○	○	○
凍結防止運転	不要	【7.0℃】	不可	—	—	○	○	○
プログラム運転								
プログラム運転1 *1	必要	不要 快適/エコ/凍結防止 運転の各運転モードの 設定温度で暖房	時間毎に 任意設定可 工場設定	—	○	○	○	○
プログラム運転2 *2	必要		工場設定	—	○	○	○	○
プログラム運転3 *2	必要		工場設定	—	○	○	○	○

【 】：初期設定温度    ○：便利機能が使用可能    —：便利機能が使用できない

\*1：プログラム運転1は、工場設定、または任意に設定した週間スケジュールで暖房します。

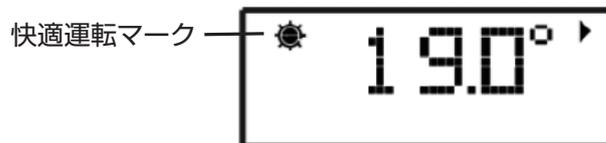
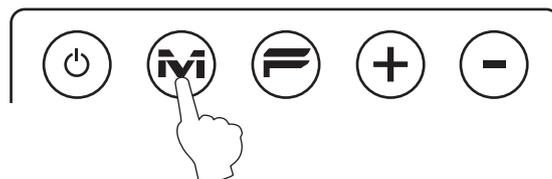
任意に設定した週間スケジュールを使用する場合は、事前にP.11「3-3-4 (2) 任意の週間スケジュールで運転する」を参照して設定します。

\*2：プログラム運転2、プログラム運転3は、工場設定の週間スケジュールで暖房をします。

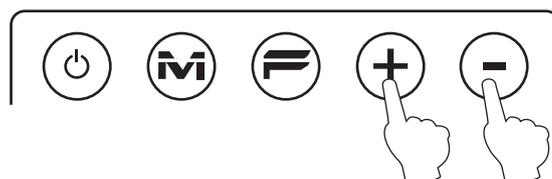
### 3-3. 運転モードの選択

#### 3-3-1. 快適運転で暖房する

①「モードボタン」を押して、快適運転マークを点灯させます。



②「プラスボタン」、「マイナスボタン」を押して、10°C～30°Cの範囲で、室温を0.1°C単位で設定します。



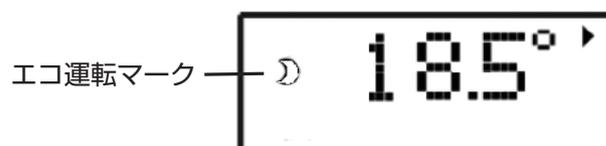
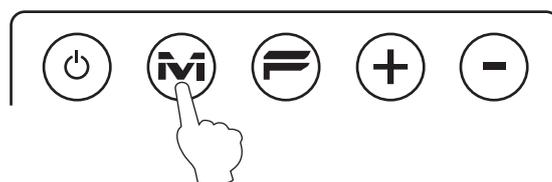
#### 3-3-2. エコ運転で暖房する

○エコ運転は、快適運転の設定温度より3.5°C低く設定することを推奨しております。推奨している設定温度の場合にのみ、エコ運転マークが白色から黒色に変わります。



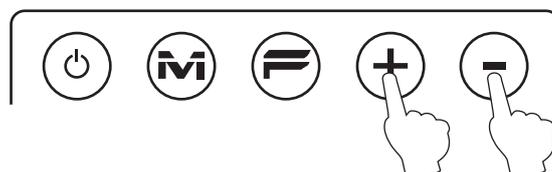
エコ運転マーク

①「モードボタン」を押して、エコ運転マークを点灯させます。



エコ運転マーク

②「プラスボタン」、「マイナスボタン」を押して、9.5°C～29.5°Cの範囲で、室温を0.1°C単位で設定します。



#### MEMO

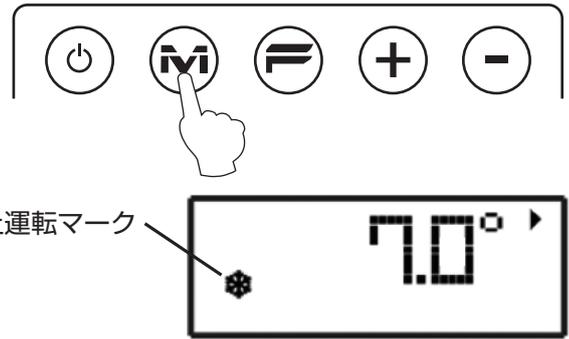
- 快適運転の設定温度をエコ運転の設定温度以下に下げるとエコ運転の設定温度は、自動的に「快適運転の設定温度-0.5°C」になります。
- エコ運転の設定温度を快適運転の設定温度より上げるには、まず、快適運転の設定温度をエコ運転の設定したい温度より0.5°C以上高く設定してください。

#### MEMO

- 起きている時間と寝ている時間で設定温度を変更したい場合や、短時間の外出の間に家を冷え切らないようにしたい場合など、毎回設定温度を変更しなくても「モードボタン」を押すだけで簡単に設定温度を切り替えることができます。

### 3-3-3. 凍結防止運転で暖房する

①「モードボタン」を押して、凍結防止運転マークを点灯させます。設定温度7℃(固定値)で暖房を行ないます。



#### MEMO

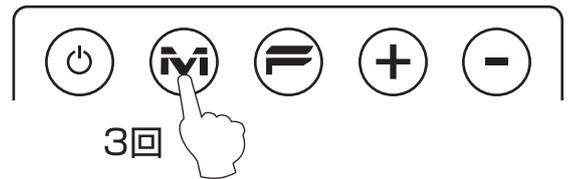
○長期外出時の水道凍結防止など、できるだけ電気代を使用せずに、お部屋を凍結温度以下にならないようにしたい場合に有効です。

### 3-3-4. プログラム運転で暖房する

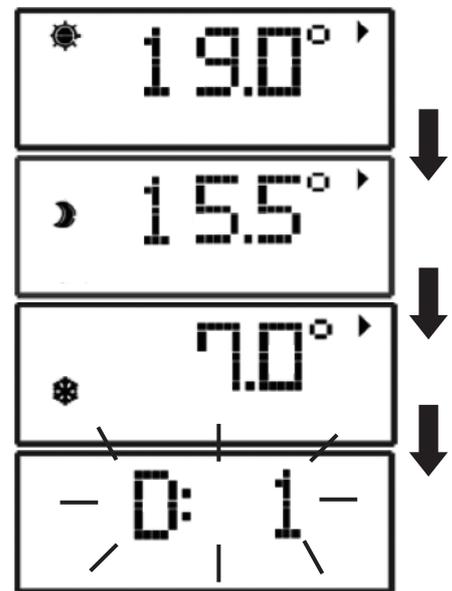
○プログラム運転1~3をご使用になる場合は、現在時刻の設定が必要です。

#### (1) 現在時刻の設定

①電源スイッチが「○」の状態から、電源スイッチの「I」を押した場合のみ以下の手順で現在時刻を設定できます。



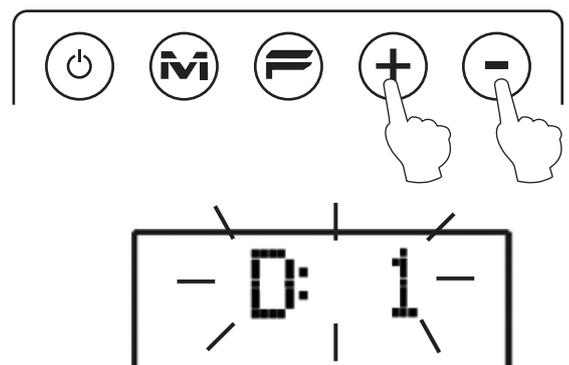
②快適運転の状態から「モードボタン」を3回押して、曜日の設定モードに入ります。



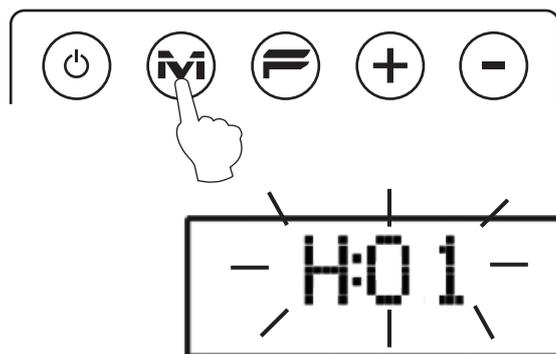
○表示と曜日の関係

表示	曜日
D: 1	月曜日
D: 2	火曜日
D: 3	水曜日
D: 4	木曜日
D: 5	金曜日
D: 6	土曜日
D: 7	日曜日

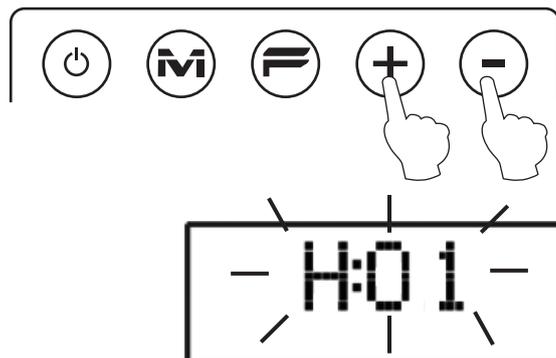
③ ②の作業後数値が点滅している間に、「プラスボタン」、「マイナスボタン」を押して、曜日を表す数字を、上表を参照して現在の曜日に設定します。



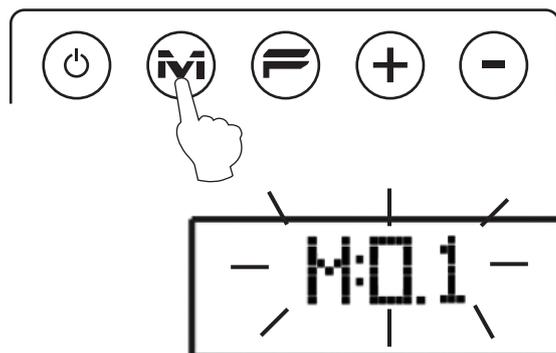
- ④ ③の状態から「モードボタン」を押すと、曜日が確定し、時間が表示されて点滅します。



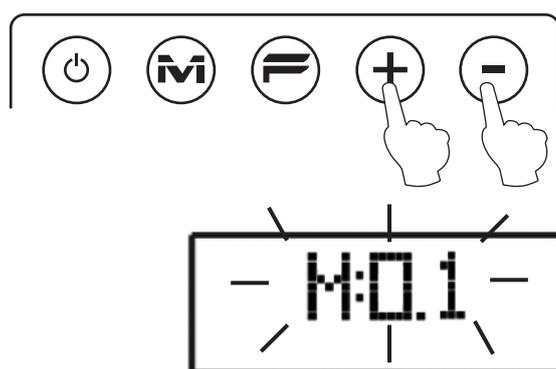
- ⑤ 「プラスボタン」、「マイナスボタン」を押して、0時～23時の間で時間を設定します。



- ⑥ ⑤の状態から「モードボタン」を押すと、時間が確定し、分が表示されて点滅します。



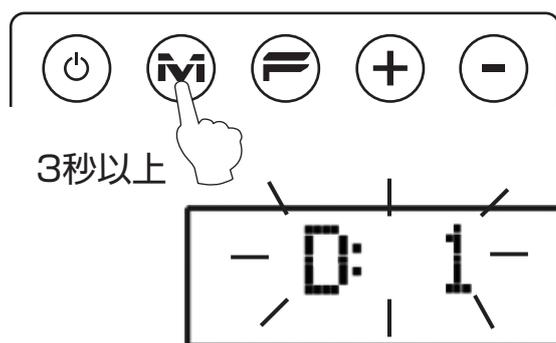
- ⑦ 「プラスボタン」、「マイナスボタン」を押して、0分～59分の間で分を設定します。



#### MEMO

- 「モードボタン」を押すか、10秒無操作で変更を確定します。

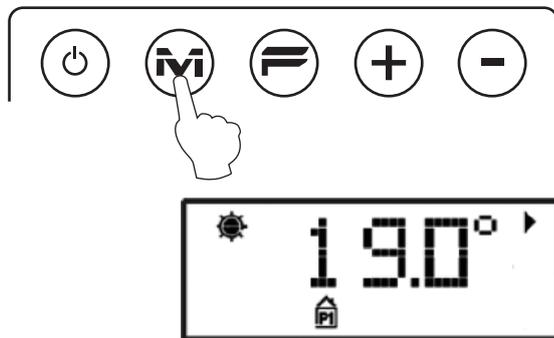
- ⑧ 一度設定した曜日と時刻を変更する場合は、「モードボタン」を3秒以上長押しすると、②の状態となり、変更が可能になります。



## (2) 任意の週間スケジュールで運転する

- 任意の週間スケジュールで運転する場合、プログラム運転1で運転モードの設定を変更します。
- 設定温度を変更したい場合は、予めP. 8「3-3-1. 快適運転で暖房する」、P. 8「3-3-2. エコ運転で暖房する」を参照して変更します。

①「モードボタン」を押して、プログラム運転1マークを点灯させます。

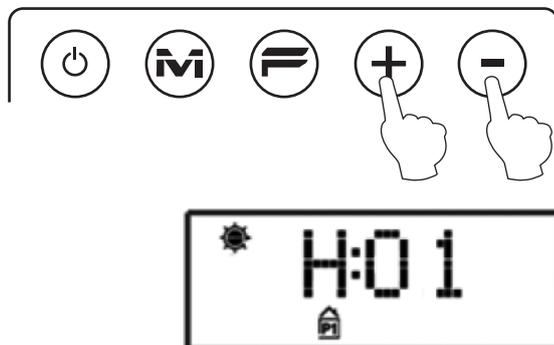


② ①の状態ですべての「マイナスボタン」を3秒以上押し続けて、プログラム運転1の設定モードに入ります。

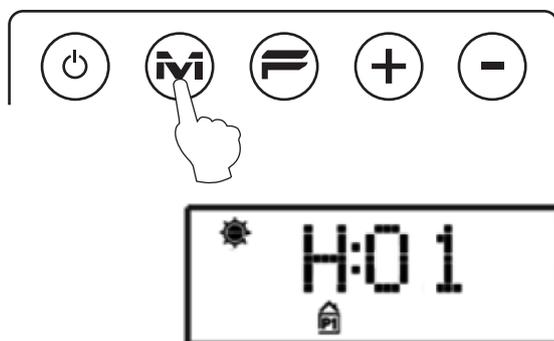
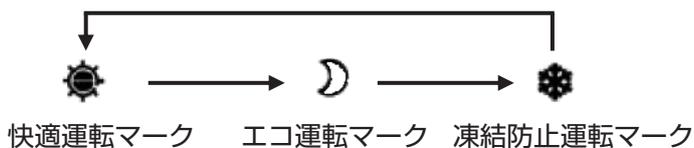


③月曜日 (D : 1) の0時 (H : 00) の設定から始まります。

④「プラスボタン」、「マイナスボタン」を押して変更したい曜日の時刻を表示します。

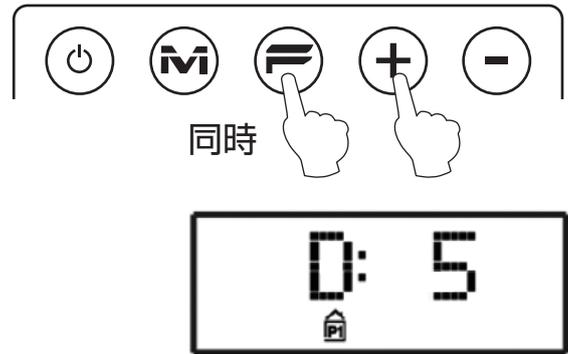


⑤「モードボタン」を押して、1時間ごとに快適運転、エコ運転、凍結防止運転のいずれかを選択していきます。

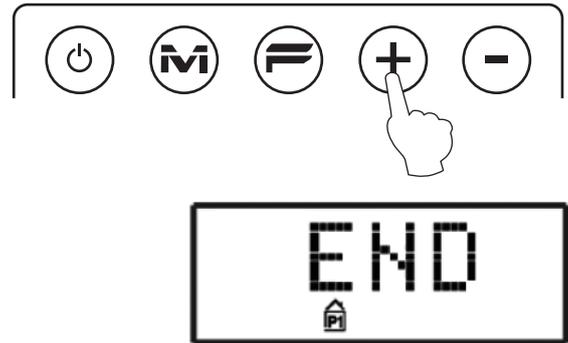


⑥月曜日 (D : 1) の0時 (H : 00) から日曜日 (D : 7) の23時 (H : 23) までを ④ ⑤ を参照して設定していきます。

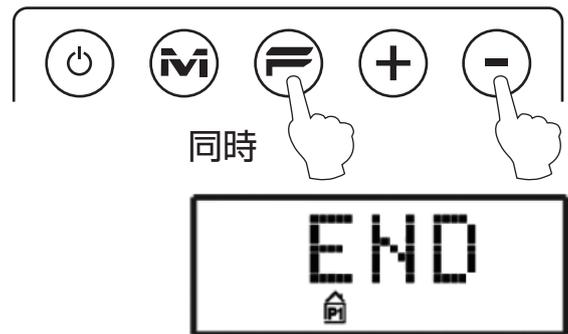
- ⑦ D : 2~7の表示時に「ファンクションボタン」と「プラスボタン」を同時に押すと、その前の曜日の運転プログラムをコピーすることができます。



- ⑧日曜日 (D : 7) の23時 (H : 23) の状態で「プラスボタン」を押して、「END」を表示させます。



- ⑨プログラムを途中で保存したい場合は、「ファンクションボタン」と「マイナスボタン」を同時に押して、「END」を表示させます。

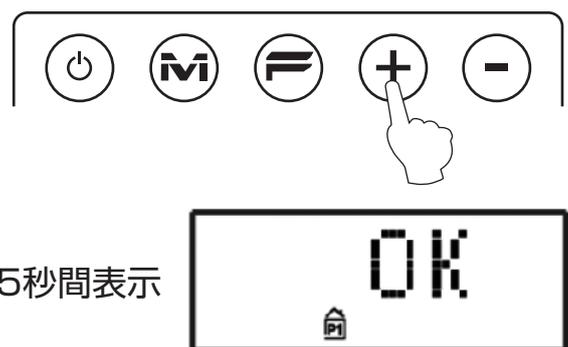


#### MEMO

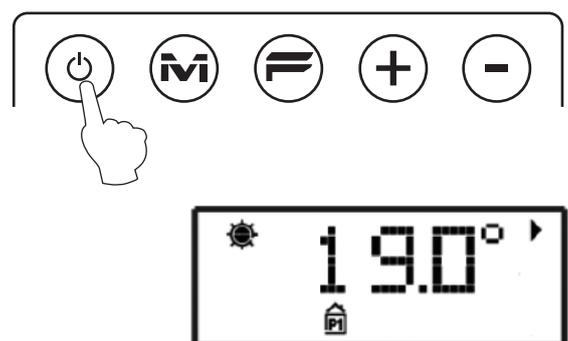
- 「END」表示から「マイナスボタン」を押すと、月曜日 (D : 1) の0時 (H : 00) に戻ります。

- ⑩ ⑧または⑨の状態からさらに「プラスボタン」を押すと「OK」が約5秒間表示されて、設定を確定して終了します。

約5秒間表示



- ⑪週間スケジュールの変更内容を保存したくない場合は、「END」表示になる前に、「スタートボタン」を押して、プログラム運転1に戻ります。

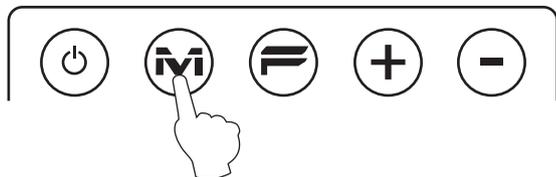


### (3) プログラム運転1～3 (工場設定) で暖房する

○プログラム運転1～3は、工場出荷時に時間毎に設定済みの週間スケジュール (快適運転、エコ運転、凍結防止運転) に従って暖房を行ないます。設定温度を変更したい場合は、予めP. 8「3-3-1. 快適運転で暖房する」、P. 8「3-3-2. エコ運転で暖房する」を参照して変更します。

○プログラム運転で暖房中は、設定温度を変更できません。

①「モードボタン」を押して、プログラム運転1～プログラム運転3マークを点灯させます。



プログラム運転1の週間スケジュール (工場設定、または、任意設定)

	00:00	06:00	08:00	12:00	14:00	17:00	24:00
月曜日～金曜日	□□□□□□	■	■	□□□□□□	□□□□□□	■	■
土曜日～日曜日	□□□□□□	■	■	□□□□□□	■	■	■

プログラム運転2の週間スケジュール (工場設定)

	00:00	17:00	24:00
月曜日～金曜日	* * * * *	* * * * *	* * * * *
金曜日	□□□□□□	■	■
土曜日～日曜日	■	■	■

プログラム運転3の週間スケジュール (工場設定)

	00:00	07:00	18:00	24:00
月曜日～金曜日	□□□□□□	■	■	□□□□□□
土曜日～日曜日	* * * * *	* * * * *	* * * * *	* * * * *

□ : 快適運転    ■ : エコ運転    \* : 凍結防止運転

# 4. 便利機能

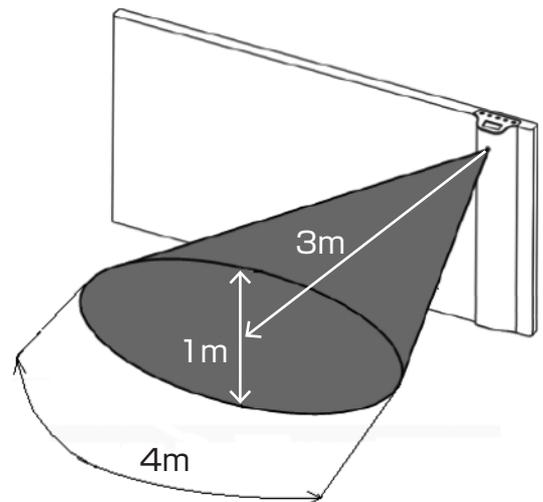
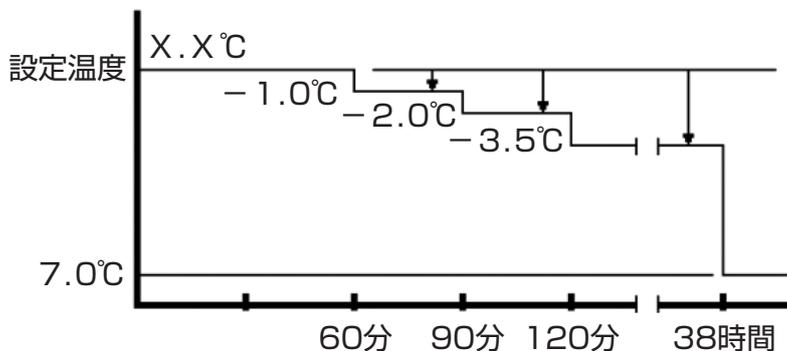
## 4-1. 人感センサー検知機能

### 4-1-1. 人感センサー検知機能の働き

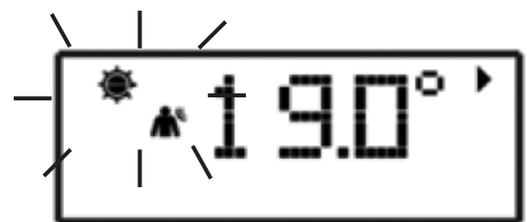
○人感センサー検知機能は、人感センサー感知部の前方約3m、水平方向約4m、高さ方向約1mの範囲内で一定時間、人の動きが無い場合に、快適運転マーク及び人感センサー検知機能マークが点滅し自動的に設定温度を下げます。この機能により、暖房を使用したまま外出しても、自動的に電気代の消費を抑えながらお部屋を暖めておくことができます。さらに、暖房を使用したままで長期外出した場合には、自動的に凍結防止運転に移行し、電気代を節約します。

#### MEMO

○ウィンドウサーチ機能と併用することが可能です。



- 人感センサー検知機能が作動すると快適運転マークと人感センサー検知機能マークが点滅します。
- 人感センサー検知機能が作動中に、操作部の「モードボタン」を押す、または、人感センサーが10分以上にわたって人の動きを感知すると、人感センサー検知機能マークの点滅が点灯に変わり快適運転に戻ります。

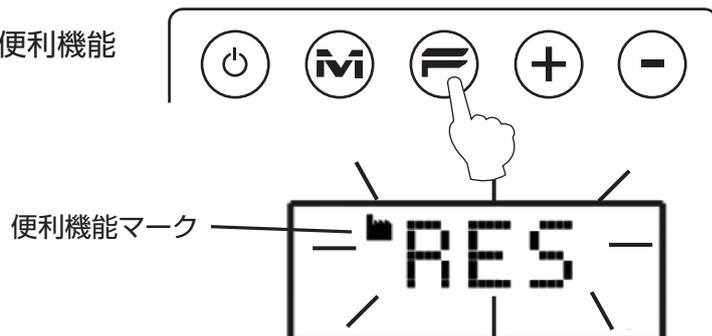


#### MEMO

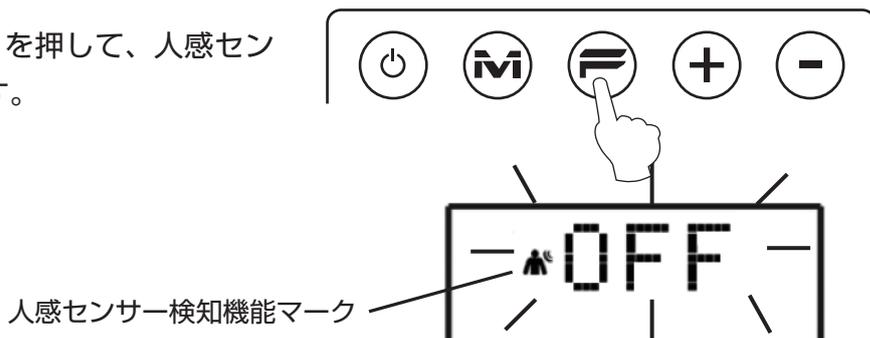
- エコ運転、凍結防止運転、プログラム運転1~3では、人感センサー検知機能マークは点灯せず働きません。
- 人感センサー付近に家具等の障害物がある場合は、正常に感知しない場合があります。

## 4-1-2. 人感センサー検知機能を設定する

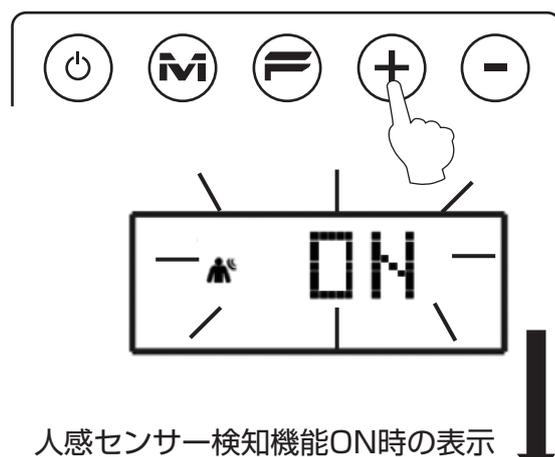
- ①「ファンクションボタン」を押して、「RES」と便利機能マークを点滅させます。



- ② ①の後、「ファンクションボタン」を押して、人感センサー検知機能マークを点滅させます。



- ③「プラスボタン」を押して、「OFF」で点滅している表示を「ON」にします。

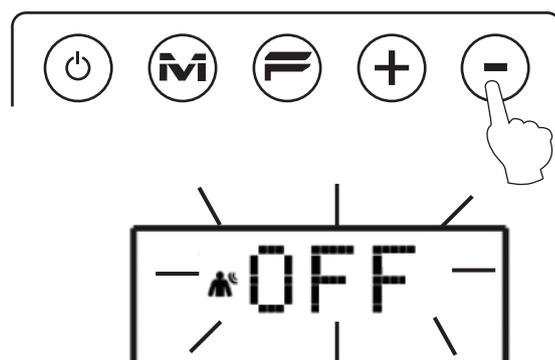


- ④「モードボタン」を押して快適運転表示に戻るか、10秒間無操作で変更が確定します。



## 4-1-3. 人感センサー検知機能の設定を解除する

- ①「ファンクションボタン」を押して、「RES」を点滅させた後、さらに「ファンクションボタン」を押して、人感センサー検知機能マークを点灯させます。



- ②人感センサー検知機能の使用をやめる場合は、①の状態ですべてのマークを点滅させている状態で「マイナスボタン」を押して、「ON」で点滅している表示を「OFF」にします。

## 4-2. ウィンドウサーチ機能

### 4-2-1. ウィンドウサーチ機能の働き

- ウィンドウサーチ機能は、機器の温度センサーで検知している室温が短時間に約6℃以上下がった場合に、凍結防止運転マークとウィンドウサーチ機能マークが点滅して凍結防止運転に移行します。この機能により、室内の換気時などに無駄な電気の使用を無くせます。
- ウィンドウサーチ機能が作動中に「モードボタン」を押すと凍結防止運転のマークが消灯し、ウィンドウサーチ機能マークが点灯して、元の運転状態に戻ります。
- ウィンドウサーチ機能は、快適運転、エコ運転、プログラム運転1～3では働き、凍結防止運転に設定されている場合には働きません。

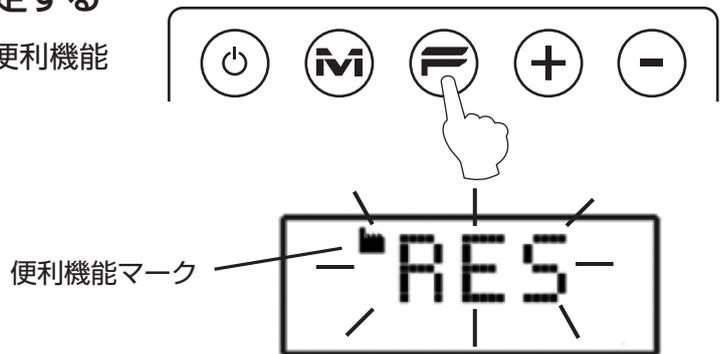


#### MEMO

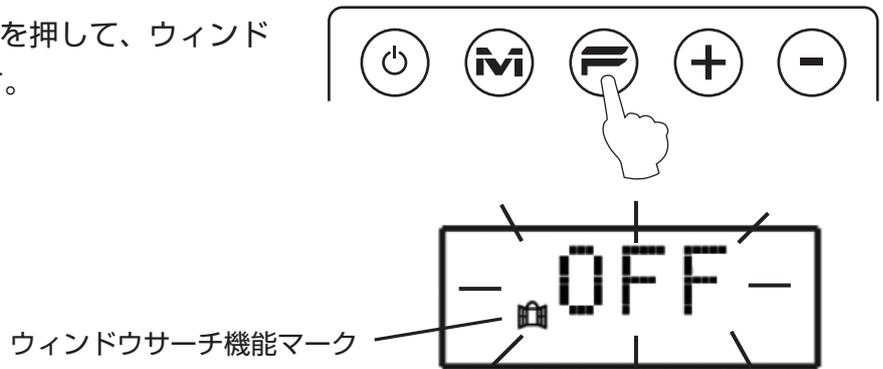
- 人感センサー検知機能と併用することが可能です。

### 4-2-2. ウィンドウサーチ機能を設定する

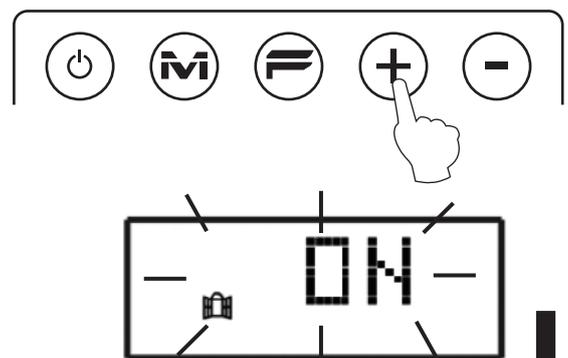
- ①「ファンクションボタン」を押して、「RES」と便利機能マークを点滅させます。



- ② ①の後、「ファンクションボタン」を押して、ウィンドウサーチ機能マークを点滅させます。



- ③「プラスボタン」を押して、「OFF」で点滅している表示を「ON」にします。



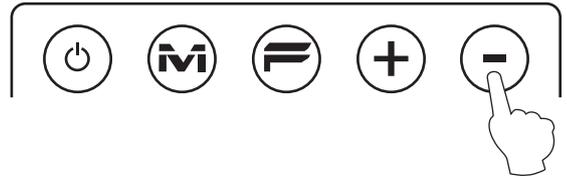
- ④「モードボタン」を押して元の運転状態に戻るか、10秒間無操作で変更が確定します。

ウィンドウサーチ機能ON時の表示



### 4-2-3. ウィンドウサーチ機能の設定を解除する

①「ファンクションボタン」を押して、「RES」を点滅させた後、さらに「ファンクションボタン」を押して、ウィンドウサーチ機能マークを点滅させます。



②「マイナスボタン」を押して、「ON」で点滅している表示を「OFF」にします。

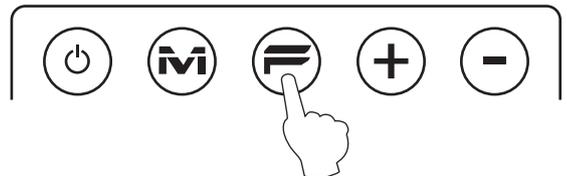


## 4-3. 消費電力量表示機能

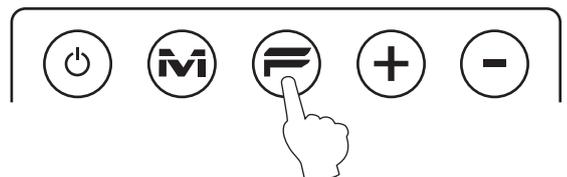
- この表示はあくまでも目安です。必ずしも表示されている電力量を使用しているとは限りません。
- 電力量の単位は「kWh」です。

### 4-3-1. 一日の消費電力量

①「ファンクションボタン」を押して、「RES」を点滅させます。



②「ファンクションボタン」を押して、「DAY」を表示させます。



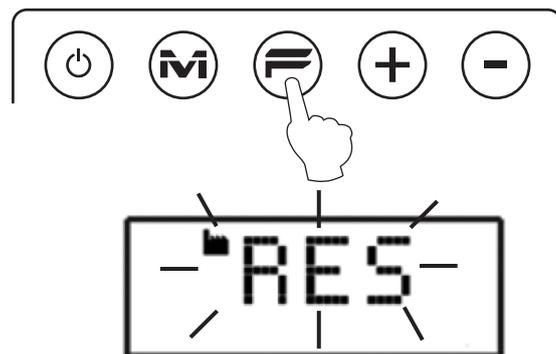
③「DAY」表示後、自動的に一日の消費電力量を表示します。



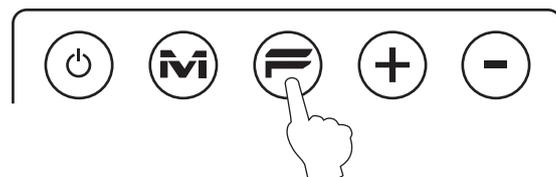
○一日分のデータが無い場合は、「DAY」表示が点滅します。

## 4-3-2. 一週間の消費電力量

①「ファンクションボタン」を押して、「RES」を点滅させます。



②「ファンクションボタン」を押して「WEK」を表示させます。



③「WEK」表示後、自動的に一週間の消費電力量を表示します。

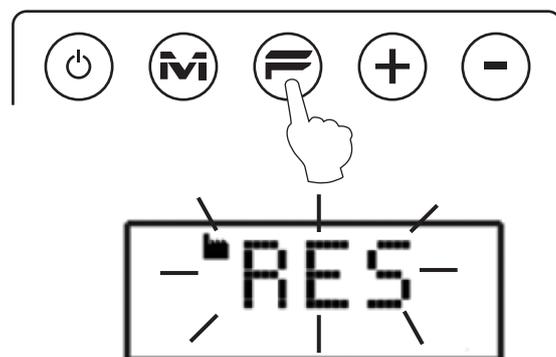


④一週間分のデータが無い場合は、「WEK」表示が点滅します。

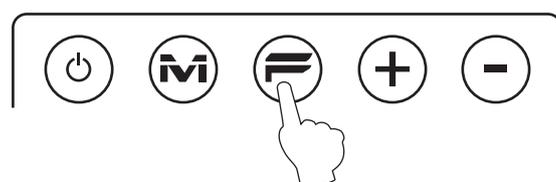
## 4-4. 現在室温表示機能と室温表示補正機能

### 4-4-1. 現在室温表示機能

①「ファンクションボタン」を押して、「RES」を点滅させます。



②「ファンクションボタン」を押して現在室温表示機能マークと現在室温を表示させます。



③機器の温度センサーで検知している温度を表示します。

#### MEMO

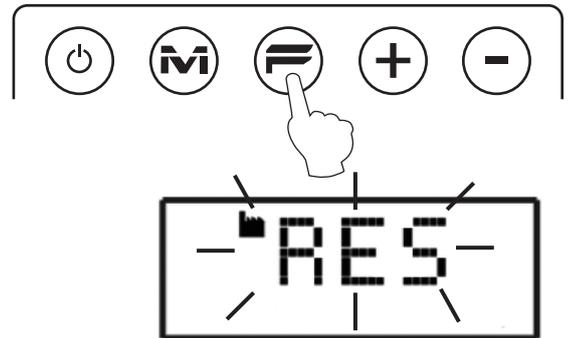
○現在室温表示は、室温表示補正機能で補正された後の温度が表示されます。

現在室温表示機能マーク

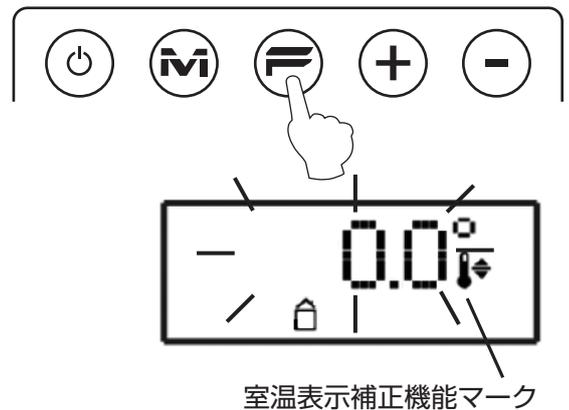
## 4-4-2. 室温表示補正機能

○機器内蔵の温度センサーが検知し表示する温度が、暖房する室内の温度の代表値からずれている場合、温度センサーが検知した温度を補正することができます。

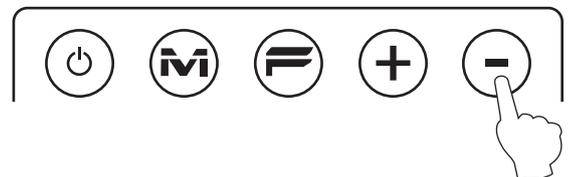
①「ファンクションボタン」を押して、「RES」を点滅させます。



②「ファンクションボタン」を押して室温表示補正機能マークを点滅させます。



③室温補正の初期値 (0.0°C) を「プラスボタン」、「マイナスボタン」を押して、-5.0°C~5.0°Cの範囲 (0.1°C単位) で変更します。

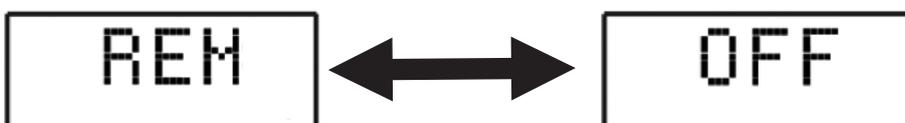


④「モードボタン」を押して元の運転状態に戻るか、10秒間無操作で数値が確定します。



## 4-5. FPモード

○この運転モードは使用しません。「REM」と「OFF」が交互に表示されている場合は、「ファンクションボタン」を押して次の表示に移動します。



# 5. チャイルドロックの設定

## (1) チャイルドロックを設定する

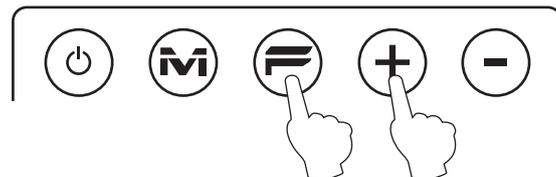
- ①「ファンクションボタン」を5秒以上押し続けて、「LOC」を表示させます。



### MEMO

- P. 14「4. 便利機能」内の項目を表示している間は、チャイルドロックを設定できません。

- ②「ファンクションボタン」を押したままで「プラスボタン」を押して、チャイルドロックを「ON」にします。



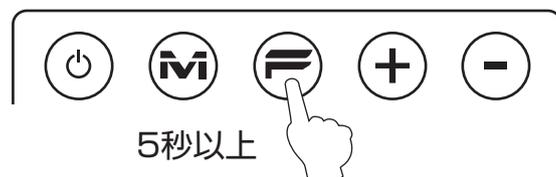
- ③「ファンクションボタン」を押すのをやめると、元の運転状態に戻り、チャイルドロックのマークが点灯します。

チャイルドロックのマーク

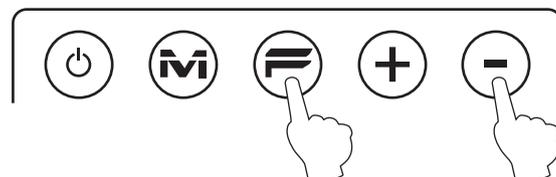


## (2) チャイルドロックを解除する

- ①「ファンクションボタン」を5秒以上押し続けて、「LOC」を表示させます。



- ②「ファンクションボタン」を押したままで「マイナスボタン」を押して、チャイルドロックを「OFF」にします。



- ③「ファンクションボタン」を押すのをやめると、元の運転状態に戻り、チャイルドロックのマークが消灯します。



# 6. 日常の点検とお手入れ

## (1) 機器の清掃

○製品寿命は、通電時間とご使用方法に左右されます。暖房シーズン前後に、機器の吹出口及び吸気口を清掃してください。

①清掃前に必ず電源スイッチの「○」を押すか、待機モードの状態でもチャイルドロック (P. 20 「5. チャイルドロックの設定」参照) をかけてください。

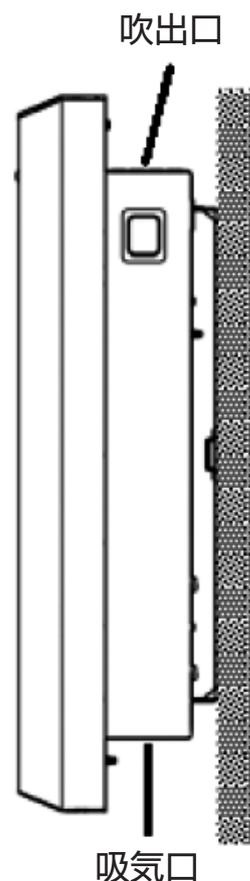
②機器が冷えた状態であることを確認して、掃除機などで吹出口と吸気口のほこり等を取り除きます。

### MEMO

○薬品やクレンザー等は使用しないでください。

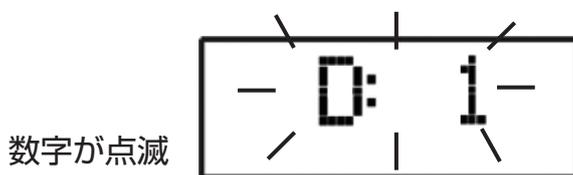
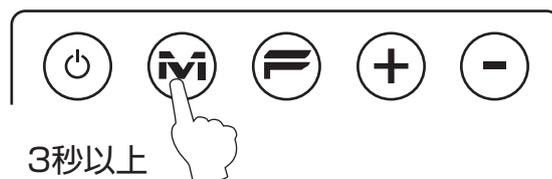
○機器に水を掛けないでください。

○汚れがひどい場合でも、水分を含んだ布で機器を拭かないでください。



## (2) 曜日と現在時刻の確認

①「モードボタン」を3秒以上押し続けると曜日が表示されます。



② P. 9 「3-3-4. (1) 現在時刻の設定」を参照して、曜日と時刻が合っていることを確認し、必要に応じて変更します。

# 7. 故障かな?と思ったら

機器の専用ブレーカを「切」(OFF)、「入」(ON)を行い、下記の処置後も現象が改善しない場合は、日本スティーベル(株)にご連絡ください。(P. 23 「8. 点検及び修理について」参照)

現象	確認項目	処置内容	参照ページ
暖まらない	専用ブレーカ	機器の専用ブレーカを「入」(ON)にします。	P. 5 3-1
	電源スイッチ	機器の電源スイッチ「I」を押します。	P. 5 3-1
	運転の設定	「スタートボタン」、「モードボタン」を押して、快適運転にします。	P. 6 3-1-2
	設定温度	「プラスボタン」を押して、設定温度を高くします。	P. 6 3-1-2
	人感センサー検知機能マーク	人感センサー検知機能マークが点滅している場合は「モードボタン」を押します。	P. 14 4-1
	ウィンドウサーチ機能マーク	ウィンドウサーチ機能マークが点滅している場合は「モードボタン」を押します。	P. 16 4-2
ブレーカが落ちる	専用ブレーカ	機器の専用ブレーカの容量が機器の仕様に合っていることを確認します。	P. 24 9
	主回路ブレーカ	主回路ブレーカの取扱説明書を読み、ブレーカが落ちた原因が漏電なのか、過電流なのか確認した後、日本スティーベル(株)にご連絡ください。	—————
機器表面温度が高い	離隔距離	離隔距離が守られていることを確認します。	P. 1 1
	吹出口/吸気口	吹出口と吸気口を清掃します。	P. 21 6
暖房を止められない	待機ボタン	スタートボタンを3秒以上長押しします。	P. 7 3-1-3
人感センサー検知機能が働かない	人感センサー検知機能マーク	「モードボタン」を押して、快適運転に設定してください。	P. 14 4-1

次の場合は故障ではありません。

現象	原因	参照ページ
異音がする	熱による膨張収縮音です。	—————
臭いが発生する	初めて使用する場合やシーズン初めに臭いが発生する場合があります。十分な換気を行なってください。	—————
壁紙が変色する	機器表面温度に異常が感じられない場合は、お取扱い店にご相談ください。	—————
周囲の木質系家具の乾燥による反り、割れ	お取扱い店にご相談ください。	—————
電気代が高い	設定温度や、使用方法により電気代が変わります。	—————

## 8. 点検及び修理について

### (1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書(P. 22「7. 故障かな?と思ったら」)をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理をなさらないで、日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。

**TEL: 044-540-3203**

平日 9:00~17:30 (土日祝日および特定休業日を除く)

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧のうえ、次のことをお知らせください。

- ①機種名 : 銘板ラベルに併記
- ②製造番号 : 銘板ラベルに併記
- ③不具合の具体的内容 : 暖まらない等の症状、及びご使用条件
- ④お取付け年月日 :
- ⑤お名前、ご住所、電話番号 :

### (2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

### (3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店または、施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にご連絡ください。保証期間内であれば、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

#### おねがい

- お客さまご自身で分解、改造した場合は、一切保証できかねますので、予めご了承ください。

# 9. 仕様

機種		CND-75J	CND-100J	CND-150J	CND-200J
電源		200V 50Hz 60Hz			
ヒーター 容量	定格	605W	793W	1209W	1550W
	メイン	529W	680W	1058W	1361W
	輻射用	76W	113W	151W	189W
定格電流値*1		3.03A	3.97A	6.05A	7.75A
待機電力*2		0.3W			
ブレーカ容量		15A			
外形 寸法	高さ	504mm			
	幅	675mm	790mm	1010mm	1240mm
	奥行	120mm			
質量		6.7kg	7.7kg	9.7kg	11.5kg
感電保護クラス		Ⅱ (二重絶縁)			
電源ケーブル		2心 1m			
塗装色		白 RAL9010			

\*1：許容範囲：±10%

\*2：待機電力：ディスプレイが消灯時

壁掛式電気パネルヒーター  
**取付説明書**

型 式……CNDシリーズ

機種名……●CND-75J

●CND-100J

●CND-150J

●CND-200J



**取付工事店様へ**

- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書並びに取付説明書のP. 26「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願いいたします。

日本スティーベル株式会社

# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡、または、重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 <b>禁止マーク</b> してはいけないことを示します。
 <b>注意マーク</b> 注意することを示します。
 <b>指示マーク</b> 必ず行なうことを示します。

## 警告

### 禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  付属の電源ケーブルを外さないでください。
-  取り外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
-  200Vの電源ケーブルに100Vの屋内配線を接続しないでください。
-  機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  屋外や湿気の多い場所、浴室内には設置しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器の試運転中、試運転直後は、機器表面や吹出口が熱くなっていますので触らないでください。
-  機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
-  他の機器と隣接させないでください。
-  ジョイントボックスは、機器の右面パネルから50mm以上離して設置し、機器の背面には絶対に設置しないでください。

## 注意



電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらないでください。



2重絶縁機器ですので、専用ブレーカ（非漏電タイプ）を使用し、屋内のアース配線を接続しないでください。

## 指示



電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。



電源仕様、定格電流、及び消費電力を機器右側面下部の銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って配線を行なってください。



機器の質量に対して適切な壁補強がされた、壁面に固定してください。



機器を正常に動作させるために離隔距離を守って設置してください。

	前面	上面	左面	右面	下面
離隔距離	500mm以上	150mm以上	150mm以上	150mm以上	150mm以上

※カーテン等、全ての可燃物は、機器から150mm以上離してください。



機器上端が床面から1200mm以下になるように設置してください。



設置地域の火災予防条例に即した離隔距離をとってください。

## 注意

### 禁止



設置前の機器は、雨水がかかる場所や雪上、氷上に置かないでください。



機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。

### 指示



仕上材及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着材等にはホルムアルデヒド等のVOCの放散が基準値以下になるものを使用してください。



棚下等に設置した場合は、棚板等の含水量や空気の乾燥度によって反る場合があります。正しい離隔が保たれていても、板等の反りや割れについて保証しておりません。



検査記録表（P. 32「5. 試運転の手順」）に試運転時の検査記録を必ず記入してください。



取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等の必要事項を必ず記入し、お取扱い店及び取扱者印を捺印してください。



工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。



取扱説明書をお客様に必ず保管いただくようお願いしてください。

## 2. 部品の確認

○下表の部品がカートン内にあることを確認してください。

部品名称	数量	図番
機器	1	1
CND壁固定金具	1	2
5×60mm壁固定ネジ	4	3
カールプラグ	4	4
取扱取付説明書	1	5
簡単操作ガイド	1	—



図-1 機器

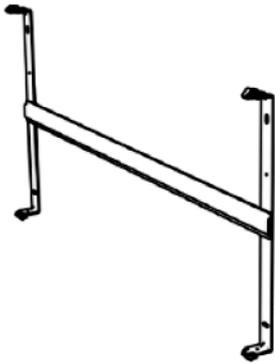


図-2 CND壁固定金具



図-3 5×60mm壁固定ネジ

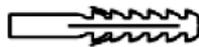
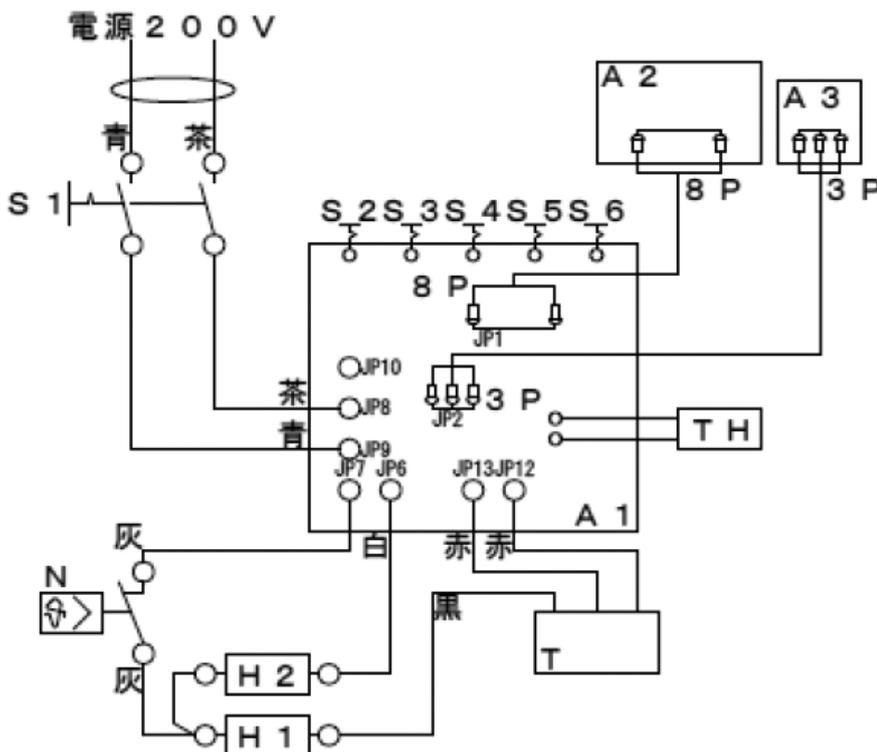


図-4 カールプラグ



図-5 取扱取付説明書

## 3. 機器結線図

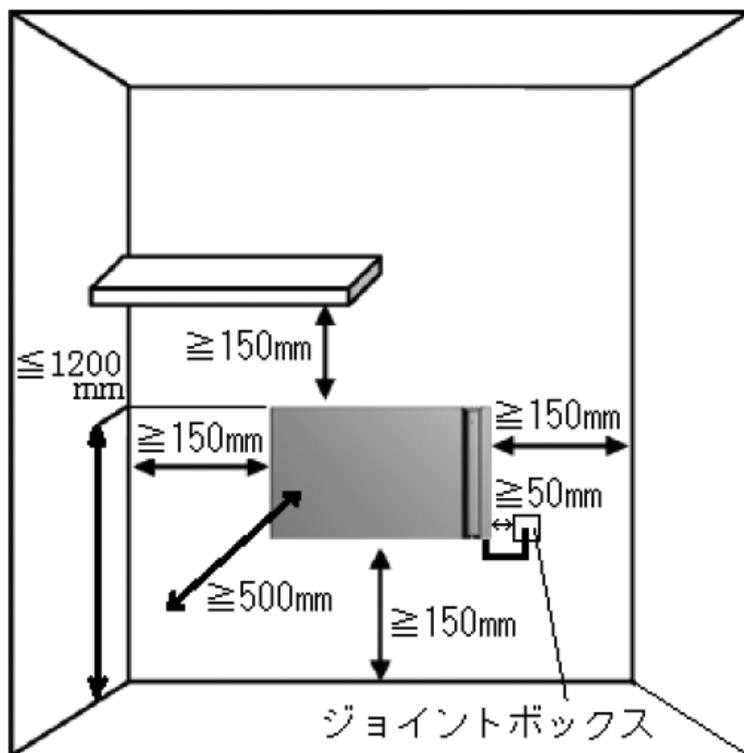


- A1 : メイン基板
- A2 : 操作部基板
- A3 : 人感センサー用基板
- H1 : メインヒーター
- H2 : 輻射用ヒーター
- N : 過昇温防止バイメタル
- S1 : 電源スイッチ
- S2 : スタートボタン
- S3 : モードボタン
- S4 : ファンクションボタン
- S5 : プラスボタン
- S6 : マイナスボタン
- T : パワートランジスタ
- TH : 温度センサー

# 4. 機器の設置

## 4-1. 設置場所の確認

- ①機器設置位置の壁が機器の質量に耐えられることを確認します。
- ②機器の離隔距離が守れることを確認します。
- ③ジョイントボックスが、機器の背面にならないよう離隔を確保して設置します。
- ④機器の専用電源ブレーカが用意されていること、その容量が機器のヒーター容量に適した容量であることを確認します。  
(P. 24 「9. 仕様」 参照)
- ⑤機器までの屋内配線が内線規程を満たしていることを確認します。  
(P. 24 「9. 仕様」 参照)



## 4-2. 電源接続

### 4-2-1. 注意事項

- ①圧着スリーブは、配線の太さと機器の電流値に適したものを使用してください。(P. 24 「9. 仕様」 参照)
- ②電源ケーブルの接続部は必ず絶縁処理してください。
- ③機器の電源ケーブルは必要に応じて切断して、屋内で弛ませないでください。

### 4-2-2. 屋内配線と電源ケーブルの接続

- ①機器の電源ケーブルとジョイントボックス間の距離を測り、機器の電源ケーブルを必要最小限の長さに切断します。

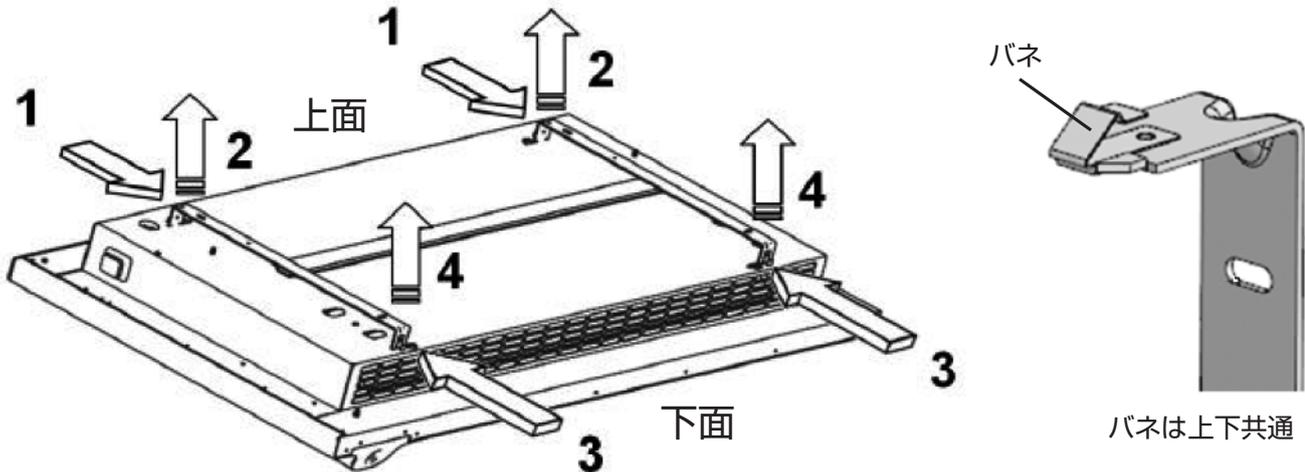
#### MEMO

- 機器の電源ケーブルは、現場で交換できません。切り過ぎには注意してください。
- ②ジョイントボックスの蓋を外し、機器の電源ケーブルをジョイントボックスの蓋中央の穴に通します。
- ③機器の電源ケーブル先端の被覆を、減線しないように圧着接続に必要な長さを剥きます。
- ④屋内配線を引き出し、その先端の被覆を、減線しないように圧着接続に必要な長さを剥きます。
- ⑤屋内配線と機器の電源ケーブルを圧着スリーブで接続し、その接続部の絶縁処理をします。
- ⑥圧着部をジョイントボックス内に納め、ジョイントボックスの蓋を閉じます。

## 4-3. 機器の固定

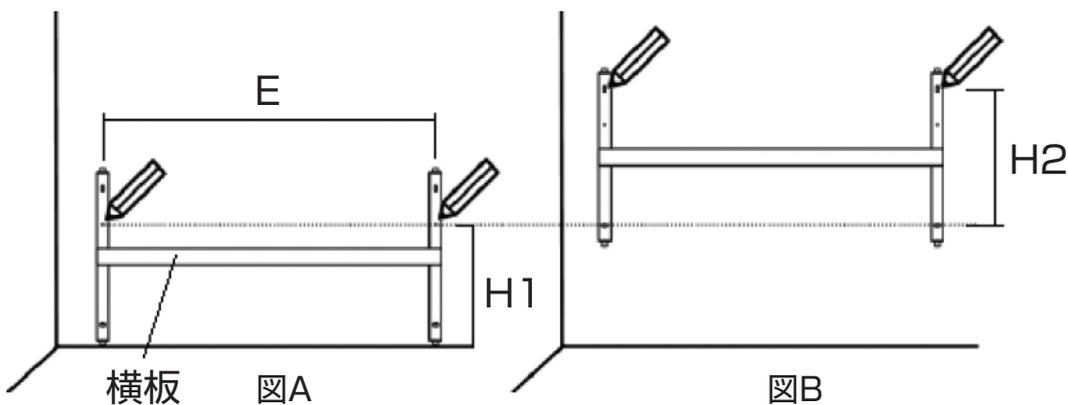
### 4-3-1. CND壁固定金具の取り外し

- ① 機器背面に設置してあるCND壁固定金具の上側のバネ2ヶ所を図の1の方向に押しします。
- ② ①の状態のまま、CND壁固定金具を図の2の方向に引いてCND壁固定金具の上側を機器から外します。
- ③ CND壁固定金具の下側のバネ2ヶ所を図の3の方向に押しします。
- ④ ③の状態のまま、CND壁固定金具を図の4の方向に引いてCND壁固定金具を機器から外します。



### 4-3-2. CND壁固定金具を壁に固定

- ① CND壁固定金具を設置位置の壁面に平行に置き、CND壁固定金具の下側を床面に合わせます。(図A)
- ② CND壁固定金具中央の横板のすぐ上の穴2ヶ所の位置を壁に墨出しします。(図A)
- ③ CND壁固定金具下側2ヶ所の固定穴を②で墨出しした位置に合わせます。(図B)
- ④ CND壁固定金具上側2ヶ所の固定穴を墨出しします。(図B)



	H1	H2	E
CND-75J / CND-100J	260mm	265mm	305mm
CND-150J / CND-200J	260mm	265mm	640mm

- ⑤ ①～④で墨出した位置にCND壁固定金具の4ヶ所の穴位置を合わせて、付属の5×60mm壁固定ネジ4本で固定します。

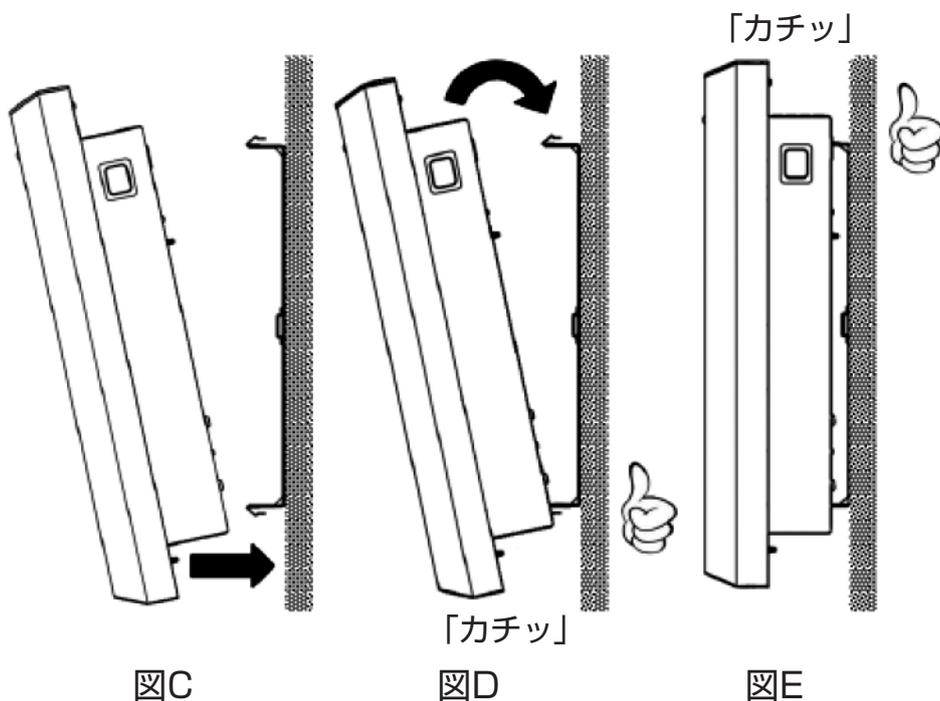
**MEMO**

- カールプラグを使用する場合は、墨出した位置にφ8の穴を60mm開けます。
- ネジの長さが長すぎる場合は、φ5で異なる長さのネジを使用して固定してください。



### 4-3-3. 機器をCND壁固定金具に固定

- ①CND壁固定金具下側の2ヶ所の突起を、機器背面下側の2ヶ所の穴に「カチッ」というまで差し込みます。(図C、図D)
- ②CND壁固定金具上側の2ヶ所の突起を、機器背面上側の2ヶ所の穴に「カチッ」というまで差し込みます。(図D、図E)



- ③機器がCND壁固定金具にしっかりと固定されていることを確認します。

# 5. 試運転の手順

## (1) 試運転

- ①機器の専用ブレーカを「入」(ON)にします。
- ②機器の電源スイッチの「I」を押します。
- ③「スタートボタン」を押して快適運転状態にします。
- ④「プラスボタン」を押して設定温度を高くして、ヒーター運転マークが点灯することを確認します。
- ⑤ ④の状態 で電流値を確認します。(P. 24 「9. 仕様」)

### MEMO

- 設定温度と室温の差を5.0℃以上にしないと定格の電流値を計測できない場合があります。
- ⑥ (2) 項の検査記録に必要事項を記入します。
  - ⑦「マイナスボタン」を押して設定温度を19.0℃(初期設定値)にし、「スタートボタン」を押して、待機モードにします。
  - ⑧機器の電源スイッチの「○」を押し、機器の専用ブレーカを「切」(OFF)にします。

## (2) 検査記録

お客様名			
担当会社名			
検査者名			
検査日			
検査項目	検査結果	摘要	参照ページ
ブレーカの定格電流値		ブレーカの定格電流値を記載	P. 24 9
ヒーターの電流値		電流値を記載	P. 24 9
機器の離隔距離の確保		チェックのみ	P. 29 4-1
ジョイントボックスの位置		チェックのみ	P. 29 4-1
壁の補強		チェックのみ	——
機器の壁固定		チェックのみ	——
機器の水平		チェックのみ	——
機器の外観		チェックのみ	——
備考			

# 保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記品番の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル(株)に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ	
	お名前 様	
お取扱い店	社名	取扱者
	〒 住所	印
	電話 ( ) -	印
お取付け日	年 月 日	

品番	CND- 75J
	CND-100J
	CND-150J
	CND-200J
製造番号	- -
保証期間	製品 お取付け日から1年

機器はお取付け日から1ヶ年保証です。

## ★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### (無料修理規定)

- お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル(株)にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。  
「お取付け日」の記載がない場合、日本スティーベル(株)の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取付け日」として起算します。
- ご転居等、お取り付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル(株)にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - 修理または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
  - 使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
  - お取り付け後の移設及び取付説明書に基づいたお取り付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
  - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガスなどの有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入及びその他の外部要因による故障及び損傷の場合。
  - 指定外の電源(電圧・周波数)で使用した場合の故障や損傷。
  - 一般の建物以外(例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設)等で使用された場合の故障や損傷。
  - 砂、さび、ごみ及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
  - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
  - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
  - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

**STIEBEL ELTRON** 日本スティーベル株式会社

**STIEBEL ELTRON** 日本スティーベル株式会社

**TEL: 044-540-3203**

平日 9:00~17:30 (土日祝日および特定休業日を除く)

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル8F

ホームページ <http://www.nihonstiebel.co.jp>

■製造者  
スティーベルエルトロン

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

本書は環境保護のためリサイクルペーパーを利用しております。

商品コード  
62998142

T3160701  
20160819A

A325157-39517-9160